

大会速報 2日目

全日本学生フォーミュラ大会二日目を迎えました。本日、午前中は激しい雨に見舞われましたが、昼ごろからは日差しの照りつける大変蒸し暑い一日となりました。

さて、本日は昨日の続きであるチルト試験（車両を傾けても異常が発生しないか）、騒音試験、ブレーキロック試験、静的審査であるプレゼン審査、コスト審査そしてデザイン審査を受けました。

チルト試験は一発で、騒音試験とブレーキロック試験は二回目で合格しました。

プレゼン審査は、実際に私たちが企業である仮定で車両を製造・販売する際の戦略を提示し、その内容が審査されるというもので、竹内が行いました。なかなか好感触を得られたと感じています。

価格が性能に見合うような妥当なものであるかどうか、そして事前に提出した書類との整合性を見るコスト審査では、車両の組み立て構成を示すファイナルアッセンというデータが欠落しており、残念ながら大幅な減点が予想されています。

その一方でコストレポート内のベスト三面図賞の発表が行われ、受賞(京都大)は逃したものの候補10校に選出されました。デザイン審査では、各パーツの担当者がデザインパネルを掲げながら自ら設計したパーツについて審査員に力説していました。この審査ではかなりの好感触が得られたと感じています。

3日目ではアクセラレーション（加速走行）、スキッドパッド（8の字走行）、オートクロス（タイムアタック）を実施します。是非明日の速報も目をお通しください。

